

市立高等学校における通知票の誤記載について

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校において、令和2年7月31日に配付した1学期の通知票について、評定に誤記載があることが判明しました。学校は、生徒及び保護者に謝罪と説明を行うとともに、正しい通知票を配付しました。

1 誤記載の内容

1年次(238名)のうち、2科目において、5名の評定に誤りがありました(物理基礎 4名、OCPDI 1名)。

【評定】: 各科目の学習状況を総括的に評価したもの。

【OCPD】: Oral Communication for Presentation and Debate の略。英語によるプレゼンテーションやディベートを行い、実践的な英語力を培う。OCPDIは1年次で学習する。

2 学校名

学校名 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校
校長 永瀬 哲(ながせ あきら) 生徒数: 706名 教職員数: 85名
所在地 横浜市鶴見区小野町6番地

3 経過

7月31日(金) 1学期の通知票を配付した。
8月7日(金) 面談において、生徒1名から自身の物理基礎の評定について、担任教諭が質問を受けた。担当教諭が確認したところ、提出された課題が評価されていないことがわかり、評定の修正が必要と判明した。同様の生徒がいないか確認を開始した。
8月8日(土) 全年次、全教科において点検作業を開始した。
8月9日(日) 物理基礎の確認が終了し、評定を誤記載してしまった生徒が上記1名を含めて4名いることが判明した。
8月15日(土) OCPDIにおいて、提出物の評価が未入力であったことを確認し、誤った評定を通知した生徒が1名いることが判明した。
8月17日(月) 全年次、全教科における点検作業が終了し、上記5名の他に誤記載がないことを確認した。該当するすべての生徒・保護者への謝罪・説明及び通知票の再配付を終えた。
8月18日(火) 全教職員に向けて再発防止に係る研修を行った。

4 誤記載が発生した主な原因

「物理基礎」の誤記載は、担当教諭による提出物の管理及び確認が不適切であったこと、また提出物と評価の再確認を怠ったことが原因です。「OCPDI」の誤記載は、提出物の評価の記録を入力しなかったこととそのデータの確認を怠ったことが原因です。

5 再発防止に向けた取組

- 今回の事例を参考に点検方法を見直し、同様の事案の再発防止に努めます。
- 成績処理に関する研修及び不祥事防止研修を、年間を通して実施します。

お問合せ先

教育委員会事務局高校教育課長 鍋山 英彦 Tel 045-671-3289